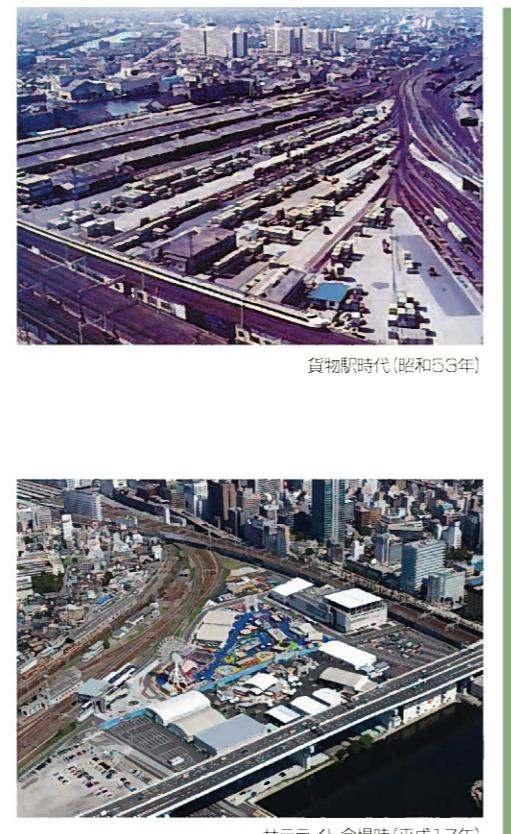


ささしまライブ24のあゆみ

昭和12年2月1日	笹島貨物駅開業
昭和61年10月31日	笹島貨物駅廃止
平成11年8月13日	土地区画整理事業の都市計画決定
	都市計画道路椿町線・笹島線の都市計画決定
平成12年3月30日	土地区画整理事業の事業計画決定
平成12年10月16日	土地区画整理審議会設置
平成13年2月13日	都市計画道路椿町線の事業認可(太閻地区一部区間)
平成14年4月18日	仮換地指定
平成14年10月25日	都市再生緊急整備地域の指定
平成16年2月10日	地区計画の決定、用途地域等の変更
平成16年度～	区画道路整備(一部)
平成16年7月23日	まちづくり協議会の設立
平成16年10月6日	あおなみ線 ささしまライブ駅の開業
平成17年3月	ラ・バーモささしま、Zepp Nagoyaの開業
平成17年3月～9月	日本国際博覧会「愛・地球博」のサテライト会場として使用
平成20年1月15日	保留地及び市有地を活用した開発提案事業者決定
平成20年9月9日	都市計画道路椿町線の事業認可(太閻地区全線)
平成20年9月24日	土地区画整理事業の事業計画変更公告
平成21年6月1日	JICA中部国際センターの全面開業



名古屋市 住宅都市局 市街地整備部
ささしまライブ24総合整備事務所

〒453-0801
名古屋市中村区太閻一丁目19番7号
TEL. (052)453-0171
FAX. (052)453-0175

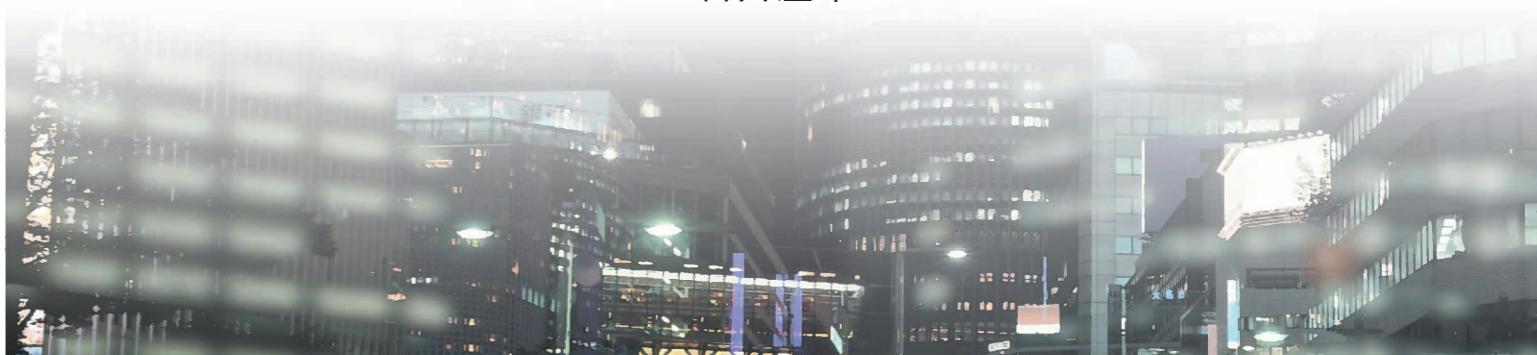
名古屋市公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/>
このパンフレットは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

ささしまライブ24

Sasashima Live 24



名古屋市



名古屋市長 メッセージ

名古屋駅の南に位置し、旧国鉄笹島貨物駅跡地の約12.4haと中川運河船だまり周辺を含む「ささしまライブ24」。国際歓迎・交流の拠点をめざして、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい活気と魅力に満ちたまちづくりを進めています。

この地区の歴史をひもときますと、明治19年、現在の笹島交差点付近に旧名古屋駅が開業したことになります。その後、現在の位置に名古屋駅が移った後は、昭和12年に開設された笹島貨物駅と隣接する中川運河とともに物流の一大拠点として機能してきました。そして昭和61年の貨物駅廃止後は新たなまちづくりへの大転換を図るため、平成11年度に本市施行の土地区画整理事業に着手し、現在に至ります。

また、平成17年には、日本国際博覧会「愛・地球博」のサテライト会場として多くの人にぎわったことも記憶に新しいところです。

現在、道路をはじめとする基盤整備を鋭意進めるとともに、平成19年度に実施した開発提案競技によるプロジェクトについても建設が開始されるなど、着々と街のかたちが見えてきています。

今後はここに働き、学び、訪れる人々に命を吹き込んでもらい、ともに活気と魅力に満ちた街をつくっていきたいと思います。



名古屋市長・河村たかし



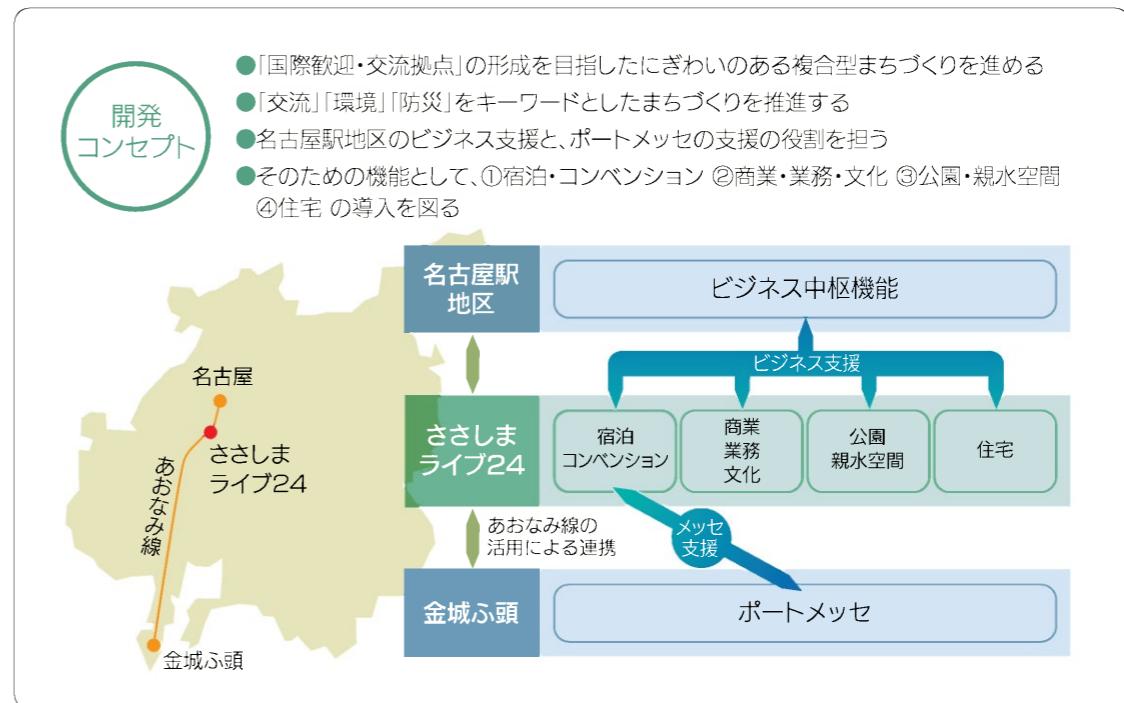
位置図

輝き出す、名古屋駅南エリア 響き合う、国際・交流・知のステージ

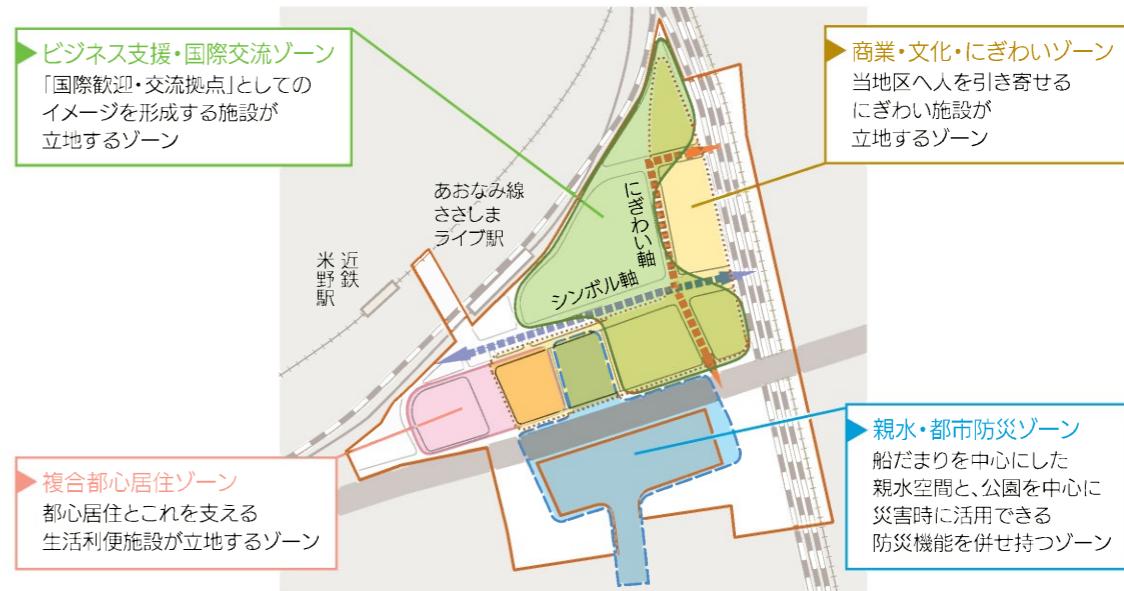
国際歓迎・交流の拠点をめざして

平成17年、日本国際博覧会「愛・地球博」のサテライト会場として注目を集めたささしまライブ24。名古屋駅の至近にある貴重な大規模空間は、名古屋の顔となるまちづくりが待ち望まれていました。

本市の総合計画「名古屋新世紀計画2010」では、当地区を「国際的・広域的な商業・業務機能などの集積を誘導し、国内外から訪れる人々や市民でにぎわう、交流の場を提供する『国際歓迎・交流の拠点』の形成をめざす」と位置付けています。こうした考えをもとに、4つのゾーンの土地利用計画を定めました。



土地利用計画



働く、学ぶ、遊ぶ、憩う

知と交流を育み、感性と文化を発信する豊かな都市機能

建築計画の概要

番号	開発の計画・状況	敷地面積	開業予定
①	未定	約1.0ha	未定
②	シネコン、アミューズメント等(ラ・パーもさしま) ライブホール(Zepp Nagoya)	約1.0ha	開業中
③	国際交流・研修施設(JICA中部国際センター)	約0.6ha	開業中
④	事務所、ホテル、コンベンション、商業等 (仮称)グローバルゲート	約1.7ha	調整中
⑤	大学(愛知大学名古屋校舎(ささしま))	約1.5ha	H24.4開校予定
⑥		約1.5ha	H27.4開校予定
⑦	共同住宅等	約0.8ha	未定
⑧	中京テレビ放送(株)	約0.7ha	H28(予定)

④～⑧は平成19年度に実施した開発提案競技によるプロジェクト



② ラ・パーもさしま
(シネマコンプレックス、フットサル、物販、飲食、ゲームセンター)
延床面積——約18,900m²
階数・高さ——5階・高さ約30m

② Zepp Nagoya
(ライブホール)
延床面積——約2,500m²
階数・高さ——2階・高さ16m

遊
Amusement

③ JICA中部国際センター

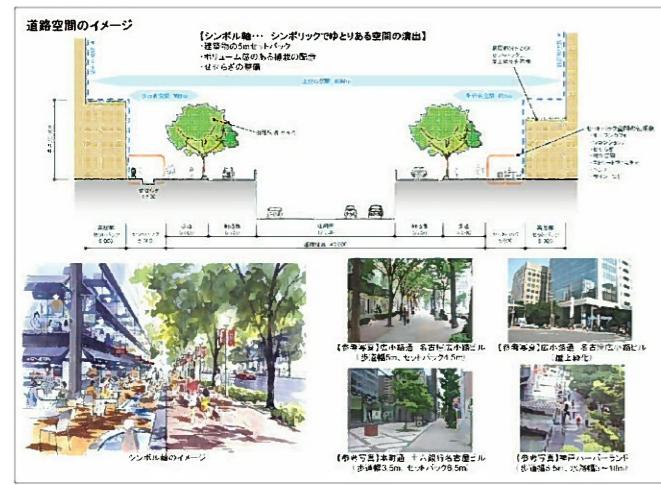
延床面積——約6,000m²
階数・高さ——6階・高さ22m
建物用途——国際交流・研修施設

国際
International



まちづくり協議会
平成16年7月設立

ささしまライブ24地区の土地所有者等により、ささしまライブ24まちづくり協議会を組織しています。協議会では平成19年6月に、土地利用の方針と建築ルールを定めた「ささしまライブ24地区整備方針」を取り決め、運用を開始しています。また、良好な環境を維持するとともに地域の価値を高められるよう、地区内の定期的な清掃活動「SL24クリーンデー」を実施しているほか、各種エリアマネジメント活動実施の検討をすすめています。



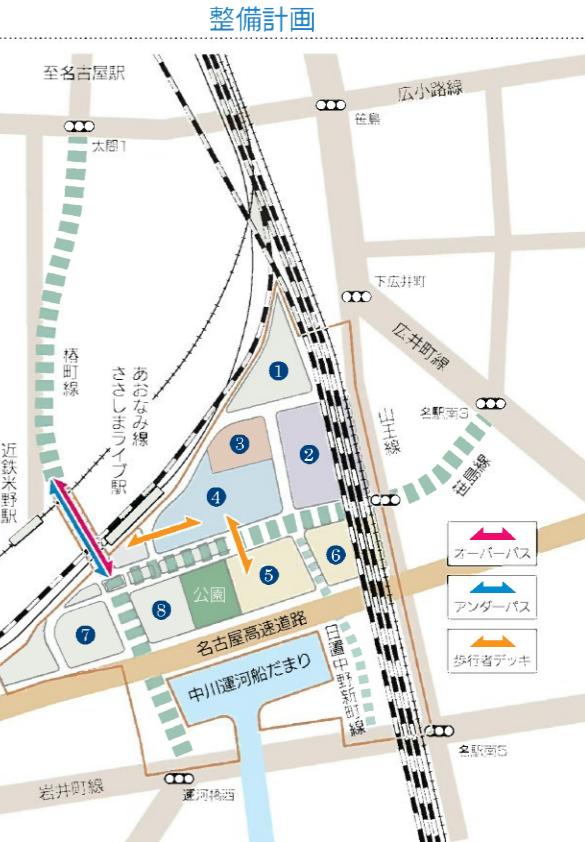
交流
Communication



④ (仮称)グローバルゲート
延床面積——約157,000m²
階数・高さ——[WESTタワー]
地上37階・地下2階
高さ約170m
[EASTタワー]
地上18階・地下2階
高さ約90m
建物用途——事務所、ホテル、コンベンション、商業、サスティナブル・ミュージアム等

街に彩りと憩いを
提供する公共空間の整備

この街で働く方、学ぶ方、そして訪れる方々の憩いや癒しの場となり、また地区の魅力スポットとなる空間づくりを進めます。
●隣接する中川運河船だまりと連携した公園などを整備します。



公園のイメージ



新しい価値を創造するまち、実現へのあゆみ

多彩な都市生活を支える 快適な交通ネットワーク

地区の内外を結ぶ幹線道路を整備し、快適で利便性の高い移動を実現するとともに、景観面や安全面に配慮した道路空間づくりを進めます。

- 鉄道を高架で横断するオーバーパス（歩行者道）を整備します。
- 鉄道を地下で横断するアンダーパス（自動車道）を整備します。
- ささしまライブ駅と公園を結ぶ歩行者デッキを整備します。



オーバーパスの完成予想パース



オーバーパスの完成予想パース



アンダーパスの完成予想パース



歩行者デッキ(東西デッキ)の完成予想パース



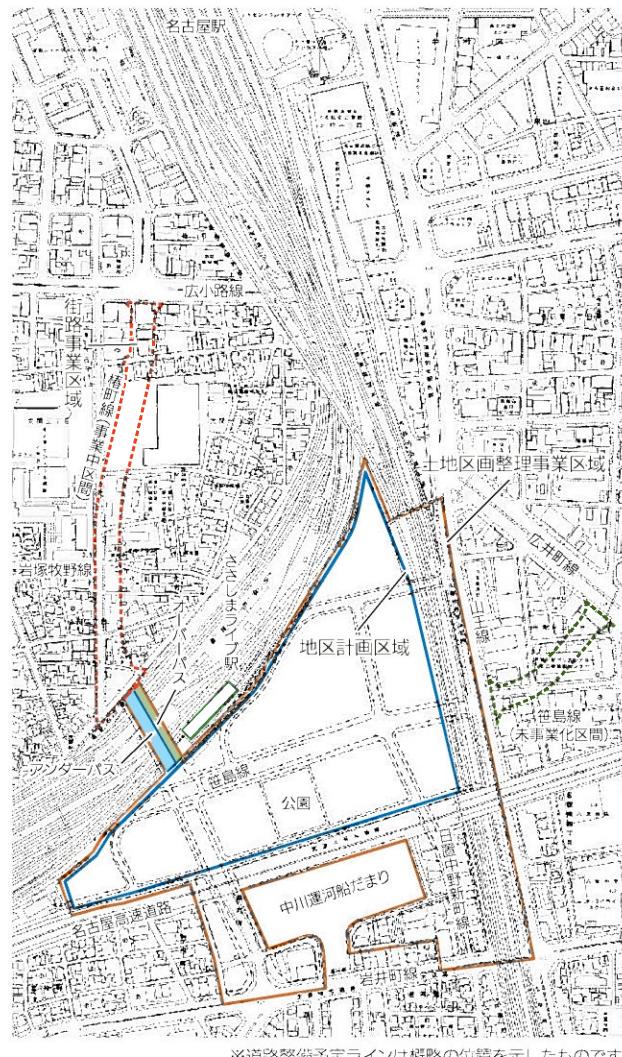
歩行者デッキ(南北デッキ)の完成予想パース



歩行者デッキ(南北デッキ)の完成予想パース

基盤整備計画

名古屋市ではささしまライブ24地区内の道路・公園等の都市基盤整備を市施行の土地区画整理事業で、また広小路線からのアクセス改善を街路事業で行っています。



※道路整備予定ラインは概略の位置を示したものです。



平成21年12月撮影

土地区画整理事業の概要

事業名称	名古屋都市計画事業 ささしまライブ24土地区画整理事業
施行者	名古屋市
施行面積	約22.1ha
施行期間	平成11年度～平成28年度
事業費	280億円
建物移転	18戸
減歩率	42.77% (公共・保留地合算)
道路の整備	都市計画道路椿町線始め21路線
公園の整備	地区の中心部に一箇所(6,700m ²)を配置

街路事業の概要

事業名称	名古屋都市計画道路事業3・3・14号椿町線
施行者	名古屋市
事業期間	平成12年度～平成26年度
事業費	81億円
施工延長	555m
標準幅員	30～36m
車線	4車線

地区計画の概要

土地の高度利用や、快適で魅力ある都市空間の形成をめざし、平成16年2月にささしまライブ24地区計画を決定しました。

対象面積	12.4ha
主な内容	一戸建て住宅、病院、店舗型性風俗特殊営業等の用途を禁止
最低敷地面積	3,000m ² に設定
緑化目標	敷地面積の20%に設定

歩行者専用上空通路の整備

地区データ

所在地	名古屋市中村区平池町ほか
主な都市計画等	商業地域(容積率500%・建ぺい率80%)等
防火地域等	
駐車場整備地区	(都心地域)
都市再生緊急整備地域	(名古屋駅周辺・伏見・栄地域)
ささしまライブ24地区計画	